

■ 保冷性能テスト（保冷剤ポケット+900ml 凍結水／自社試験）

【試験概要】

- 試験者：自社試験
- 試験環境：屋内／室温 約 20.8～21.5℃・湿度 約 49～53%
- 条件：
 - レジカゴをバッグ内にセット
 - フタ裏の保冷剤ポケットに市販の保冷剤をセット
 - バッグの中に 900ml の水を凍らせたペットボトルを 1 本入れる
 - 温湿度計をバッグ内に入れ、フタを閉じたまま 12 時間開閉なし
- 目的：
 - 900ml の凍結水がどの程度まで溶けるか
 - 同時に、バッグ内の温度がどれくらい外気より低く保てるかを確認

■ 測定結果（外気温との比較）

経過時間	外気温	バッグ内温度	外気との差	ペットボトルの状態
開始直後	約 21.5°C	約 20.3°C	約 -1.2°C	凍結した状態でセット
3 時間後	19.9°C	10.1°C	約 -9.8°C	
9 時間後	20.8°C	12.3°C	約 -8.5°C	
12 時間後	20.9°C	13.9°C	約 -7.0°C	かなり溶けているが、氷がまだ残る

- 約 21°C前後の室内で、12 時間経過してもバッグ内は外気より約 7°C低い状態をキープ。
 - 900ml の凍結水は 12 時間経過時点でも完全には溶け切らず、氷の芯が残っている状態。
- 「保冷剤ポケット＋凍結ペットボトル」の組み合わせで、長時間ひんやりした環境を維持できることが確認できます。

セッティング



開始



3 時間後



9 時間後



1 2 時間後



※本製品は、日々の買い物を快適にするための保冷・保温サポートバッグです。

掲載している温度データは当社が行った自社試験の結果で、実際のご使用環境（内容物・外気温・開閉頻度など）によって温度の変化は前後します。

生鮮食品・要冷蔵品・温かい食品などは、普段と同じようにお取り扱いいただくようお願いいたします。